

No. 2583

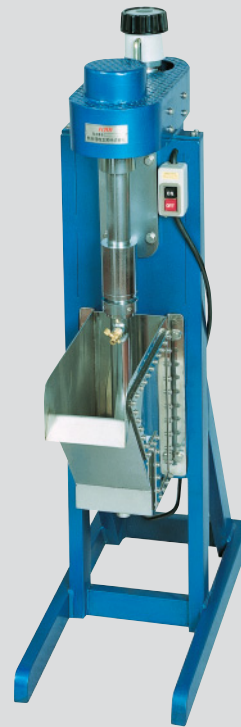
実験用フローテーター

本機は、DIP・古紙処理工程使用される高濃度パルプ離解機に続き脱墨工程に必要なフローテーターです。その原理は、鉬石の浮遊選別法の原理を脱インキに応用したもので、親油性表面のカーボンブラック、ペヒクルなどを泡に付着させて液表面に浮上させ、泡と共に除去します。フローテーション法は繊維のロスが少なく、また用水使用量が少ないという特長があるため、広く普及しております。

インペラーの回転により空気の吸い込みと攪拌が同時に行われ、微細な気泡を作ります。

パルプ液面は安定しており、この内部環境は効率的に行われ、停滞する部分がないように工夫されています。その状態はステンレス枠ガラス張りの試料槽により透視確認することができます。インペラー軸はステンレス製で、回転数は無段階に変速でき、吸込み空気量調節コックにより気泡の発生、停止、コンディショニングを適宜行い、試料槽から排出されたフロム層を別の受け皿に取り、その総量を計量します。

- 試料：75g
- 試料槽：容量 5ℓ 材質 SUS-304 (ガラス張り)
- 濃度：1%
- 回転数：720~2800rpm.
- 参考規格：J.TAPPI No.39 古紙の脱インキ試験方法
- 電源：100/110V 50/60Hz 5A
- 外形寸法：290×610×1060mm
- 重量：53kg



No. 2583

No. 2586

ダイナミックドレーネージジャー

抄紙機ワイヤーにおける填料、微細繊維の歩留が、抄紙速度の上昇につれて急激に低下することはよく知られています。本機は抄紙機ワイヤーパートでの乱流条件を再現し、填料、微細繊維の歩留を測定するために考えられた装置です。攪拌機により急激に剪断力を受けたスラリーをコックの開放により抄紙槽のワイヤー上にマットを堆積させ、更にワイヤーを通過した最初の白水の一定量を採取します。

その白水の容量を正確に測定したのち、固形分を濾紙にて濾過し、次いで乾燥し灰分量を求め、その原料の歩留OPRを算出します。

濾水部

- パルプ濃度：0.1~0.4%
- 試料供給量：500mℓ (1回分)
- 試料槽容積：1000mℓ
- オプション：バッフル付試料槽
- スクリーンプレート：125P (200m/s)

攪拌部

- 回転数：0~5000rpm. 無段変速
- 攪拌羽根：60mmφ 4枚
- 攪拌羽根とプレート間距離：6mm
- 参考規格：TAPPI T-261cm-91
- 電源：100/110V 50/60Hz 2A
- 外形寸法：750×295×785mm
- 重量：6.5kg



No. 2586